

白樺

5 月 9 日 (金) 第 5 号

発行責任者

泉崎中学校長 角田敏文

教育目標

- ◎ 自ら学びとる生徒
 - ◎ 思いやりがあり、共に成長しようとする生徒
 - ◎ 健康で積極的な生徒
- 子どもたちが夢を語り合う学校



このQRから
ホームページ
がスマホで
ご覧いただけ
ます。

一瞬で嫌われる言動 「軽蔑される振る舞い」

《行動》

- ①責任感がなく仕事を投げ出す。
 - ②上司にぺこぺこし、部下には威張る。
 - ③時間にルーズ。
 - ④うそをつく。
 - ⑤集中して仕事をしている人の周りで騒ぐ。
 - ⑥人の悪口を言ったり、批判をする。
 - ⑦何かをしてもらった時にお礼の言葉がない。
 - ⑧仕事中にSNSやネットショッピング。
 - ⑨人のプライベートを詮索する。
 - ⑩食べ方が汚い。
 - ⑪一回会っただけで友達申請。
 - ⑫極端なIT音痴。
- ### 《話し方》
- ①人の話を最後まで聞かない。
 - ②すぐに反論する。
 - ③若者言葉を使う。
 - ④敬語を間違えて使う。
 - ⑤感情的な話し方をする。
 - ⑥いきなり会話が飛ぶ。
 - ⑦必要以上に英単語を多様する。
 - ⑧話が長い。
 - ⑨話すときに相手の目を見ない。
 - ⑩寒いギャグを連発する。
 - ⑪雑談が続かない。

上記のランキングは、ある雑誌の働く男女一〇〇〇人調査のランキングです。敬語や礼儀作法など、表面的なマナーを守ることより、周囲の人たちを不快にさせない気配りができることや、うまく人間関係を築ける能力のほうが重視されていることが、くっきりと浮かび上がっています。

産業構造変化にとまない、どの職種も感情を持つ人と人とのやり取りで成り立つ仕事を中心となってきたいます。つまり、今の時代ほとんどの人がいわゆる「感情労働」に従事するようになっています。それにともなって、マナーや作法の丸暗記ではなく、相手の個性やシチュエーションによって臨機応変に対応するといった、さらに高度な礼儀作法が求められてきています。つまり、共に働く人とうまくやっていくこうとする姿勢です。

これは、学校生活の中でも同じです。生活班、学級、部活動、学年等集団を通して、いろいろな人たちと協調していかねければなりません。

今後、学校生活を通して、しっかり身に付けさせたいです。

【今週の名言】

友達は自分を映す鏡

「家族の絆の効果」

- 鹿は森の奥へと帰っていきま
 - 鳥は空へと帰っていきます。
 - それと同じように、人は「安らぎ」へと帰っていきます。
- 家庭は、心身ともに安らぐことができるように、環境を整えておく事が大切です。仕事(学校)でクタクタになって家に帰ってきたて、家でもクタクタになるようであれば、心身の健康は保てません。その意味では、家族との関係を大切にしておくべきです。なぜなら、家庭の中でクタクタに疲れ切ってしまう一番の原因は、家族の不和にあるからです。夫婦も、親子も兄弟も仲良くあってこそ、家庭が安らぎの場になります。そして、安らぎの場である家庭でゆっくり疲れを癒すことができればこそ、翌日、また元氣いっぱい職場や学校へいくことができます。家族との関係を良くする方法は、○家族としつかり会話をする。○相手の欠点を指摘しない。相手の長所をほめる。
- 朝食と夕食は、できるだけ家族とともにする。
 - 家族で共同作業をする。清掃・料理・買い物・行事の準備など

週の行事予定

16	15	14	13	12
金	木	水	火	月
PTA専門委員会・運営委員会・本部役員会(18時)		県南陸上大会 ※昼食なしで下校 NO部活動デー		漢字コンテストプレテスト 県南陸上大会決意表明会

中体連まであと一ヶ月
だから勉強にも
力を入れて